

# ふきのとう

## ⑤

なまえ

二年

くみ

「すまない。」

と、竹やぶが 言いました。

「わたしたちも、ゆれて おどりたい。」

ゆれて おどれば、雪に 日が あたる。」 ……⑦

と、上を 見上げます。

「でも、はるかぜが まだ こない。」

はるかぜが こないと、おどれない。」 ……⑧

と ざんねんそうです。

● は、どんなふうによんだらいいかな。だれのことばでどんなふうによんだらいいか、かきましよう。

### ⑦ だれのことば

どんなふうに（よみかたのくふう）

### ⑧ だれのことば

どんなふうに（よみかたのくふう）

# ふきのとう

## ⑥

なまえ

二年

くみ

空の上で、お日さまが わらいました。

「おや、はるかぜが ねぼうして いるな。」

竹やぶも 雪も ふきのとうも、みんな

こまって いるな。」

…  
⑨

そこで、南を むいて 言いました。

「おうい、はるかぜ。 おきなさい。」

…  
⑩

● は、どんなふうによんだらいいかな。だれのことばでどんなふうによんだらいいか、かきましよう。

### ⑨ だれのことば

どんなふうに（よみかたのくふう）

### ⑩ だれのことば

どんなふうに（よみかたのくふう）